

「不再戦・平和友好期間」を成功させ —戦争法案を廃案に追い込もう—



あかやま

読字 原田 鏡

No. 772

2015/ 8/ 5

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒110-0051 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL:03-5561-1111 FAX:03-5561-1112

日中友好協会
岡山支部
〒700-8256 岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(272)-3010
郵便番号1100 01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911 倉敷市遊鳥中央1-8-4 (宮地方)
TEL/FAX:086(445)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



はじめに

日本中国友好協会は、毎年、7月7日の盧溝橋事件から9月18日の柳条湖事件までを「不再戦・平和友好期間」と定め、全国各地で街頭宣伝や記念集会・学習会を開いています。

戦後70年の今年は、安倍政権の戦争する国づくりを目指す戦争法案を廃案に追い込む戦いと結合させ、これまで以上のとりくみが求められています。とりわけ安倍首相が、戦争法案を合理化する理由として「日本を取りまく安全保障環境は一層厳しくなっている」とし、中国の台頭(脅威)を口実にあげています。いまこそ、日中不再戦は憲法9条を生かす道!の旗を高く掲げて活動している、私たちの出番です。

もうひとつの七夕

— 盧溝橋事件78周年の宣伝 —

7月7日、日岡山支部は、天満屋アリスの広場前で街頭宣伝をしました。ハンドマイクでの訴えと、それに合わせて二種類のビラを配りました。

参加者は、竹内理事長、宇野支部長、小林事務局長、河井理事、井上監査、中国帰国者の山根さん、平和委員会の中尾さん、そして日中倉敷支部の犬飼さん(初めての参加)の計8人です。

今回は、1931年9月18日の柳条湖事件から、1937年

7月7日の盧溝橋事件、そして1945年の日本の敗戦まで中国全土への侵略戦争をおしすすめた、日本軍の写真や載せたビラを配りました。

同時に、中国百科検定(中国の歴史・地理・文化・政治・経済などを問う)に実施要

うれしい反応!

私たちの7・7の行動に対して、馬小菲さんから、次のような電話がありましたので紹介します。

弟(馬英飛)が、インターネットでニュースを見ていたら、写真が出てきた。クリックして拡大したら、小林先生の写真でした。(私がマイクをもって、7・7の宣伝をしているもの)これは、日本にいる中国人ではなく、アメリカに住んでいる中国人のものでした。彼は「日本に



おわりに

戦争法案の参議院での審議が始まりました。日中会員ならではの草の根の友好運動を前進させ、強行採決ができない状況をつくり出しましょう。暑い日が続きますが、健康に留意し、悔いが残らないように「不再戦・平和友好期間」のとりくみに全力をあげましょう!

商店街の活性化と平和の願いが一体化

この日、表町商店街には、第17回平和七夕祭りの横断幕と竹の笹に願いを書いた短冊が掲げられ、たくさん折り鶴がつるされていました。

日岡山支部は、太極拳愛好者を中心に「平和と健康を求めて」と書かれた折り鶴が男女共同参画センター前に飾られていました。

内の小学生から「喜び・平和・絆・助け合い・心・人を思う」などと書いた習字が目をひきました。

商店街の活性化と平和の願いが一体となった風景は、この時期の恒例行事となり、すっかり定着しました。

商店街の中心には、岡山市



中国現代史を学ぶ会始まる

— 会員を募集します —

戦後最悪といわれる日中関係を考えるうえで欠かせない中国の現代史を学ぶ会が発足しました。2年間のシリーズです。会場は岡山市岡輝公民館(岡山市立図書館南)。

演じます。日中友好協会岡山支部が協賛します。私たちは歴史の素人、中国の現代史を学ぶことは日本の歴史を振り返ることです。歴史の細部ではなく、朝鮮を含めて侵略された側の悲劇を改めて勉強したい」と、会の世話人は話しています。学ぶ会の要項は次の通りです。

とき 毎月第4金曜日午後2時～5時

ところ 岡山市岡輝公民館

会費 資料代のみ

講師 青木康嘉さん

形式 毎回テーマを決め、参加者がそれぞれの条件に応じてテーマごとに事前学習をして、感想を述べ合い、講師の補足コメントで理解を深める。参加希望者は会の世話人・中庭克之さん(電話086-264-8690)まで。事前予約なしでも当日参加できます。



8月29日(土)ライフパーク倉敷 ①11時 ②13時
9月22日(火)天神山文化プラザ
①10時30分 ②12時30分 ③14時30分
料金 前売 1,100円/当日 1,500円

さんしん 三線師範 頭を垂れる

谷本 薫

友人の案内で4か月前に入会した、日中友好協会岡山支部主催の太極拳教室、学習が進むにつれ、先生方はもちろん、受講生の皆さんの若々しさに、驚きを募らせていました。

そんな折、毎年恒例の夏の飲み会が私が紹介した沖縄料理店「あたらし屋」で開催された。オーナーは、岡山人でありながら沖縄をこよなく愛し、三線の師範となり、ともに料理をマスターし地元に戻られた方。

その会食と音楽は会の皆さんを魅了した。

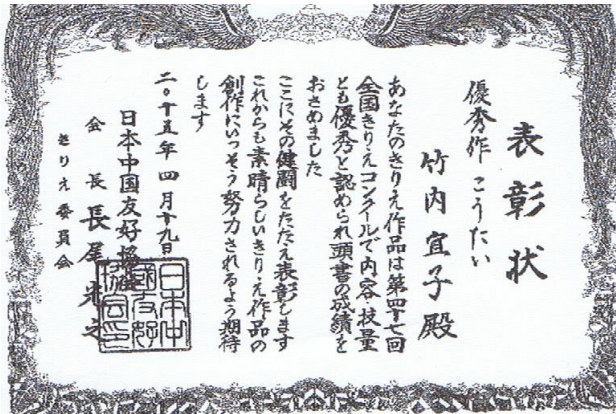
仕上げのライブでは、今回の飲み会の趣旨となった、岡山支部理事長、竹内先生の米寿のお祝い。重ねて、入会3年余の行地さんの婚約報告。ダブルの祝宴となった。

ラストソングは沖縄民謡の祝宴の歌。テーブルが軸となり、みんなの踊りも始まった。

続く共演、奏者と演者のバトル。勝者は太極拳のメンバー。

師範も頭を垂れる 鍛錬の成果かな

日中友好協会第47回全国きりえコンクールでは、岡山から4人の方が入賞されました。竹内宜子さんは、「こうたい」が優秀作に、場所×目(直島)が佳作に、佐々木ふさ子さんは、「南京爽風」が入選作に、「上海の恋人達」が入選作に、新井佳代子さんも「乙女椿」が入選作に、加藤奈津子さんは「蛙」が入選作にそれぞれ選ばれました。岡山のきりえの水準の高さがうかがえます。



日中友好協会 第47回全国きりえコンクール 岡山からの入選者

中国百科検定申し込み締切間近

問題集を勉強すれば合格間違いなし!

中国百科検定は、全国各地で、かつてない規模での広報宣伝活動が展開されてきました。しかし、この努力が受験申込に思うようにつながらない厳しい状況にあります。昨年は、想定問題集「発効後に受験申し込みが大幅に増えました。これなら合格できる」との思いを持ってなければ、受験に踏み切れない方も多いたが実情です。8月7日(金)の受験申し込み締め切り日までの約一週間。「これさえ勉強すれば合格間違いなし」と中国百科検定問題集を勉強していただきます。会員・準会員をはじめとした多くの皆さんに受験をしていただきたく思います。申し込み締切から受験日まで勉強する時間は十二分にあります。この点も考慮してぜひ受験の申し込みをしていただきます。重ねてお願いいたします。

次回の新聞発送作業は
8月14日(金)午後1時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

小林和
竹内和
竹内和
坪井三
垣